

第2学年3組 音楽科 学習指導案

実施期間 令和4年6月～7月
指導者 城南中学校 岩代 大助

1 題材の構想

「My Melody」中学生の音楽2・3下 P30, 31(教育芸術社)

生徒の姿	音のつながり方や、反復、変化を用いた構成の創意工夫を行い、旋律とコード進行の結びつきについて感性を働かせながら旋律を創作している。また、創作した旋律を発表して伝え合うことで、それぞれの作品の特徴やよさを味わい、創作表現の楽しさを感じ、他の領域や分野の学習や生活にも生かしている。		
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
題材の目標	音のつながり方の特徴や、反復、変化による音楽の構成について理解して、コード進行に合った旋律をつくる技能を身に付ける。	旋律とコード進行の結びつきについて感性を働かせ、音のつながり方や反復、変化による音楽の構成に着目し、思いや意図をもって創意工夫する。	反復、変化等の構成の特徴や、旋律を創作する活動に関心を持ち、主体的・協働的に取り組む。
目標に向かうための手立て	<p>○本研究の視点及び「3つのポイント」×「子どもが主体のICT」</p> <p>視点1【めあて】 前年度の学習を振り返り、順次進行などの音のつながり方の特徴を再確認し、サンプルの旋律を聴くことで、反復、変化を用いた構成の工夫や、旋律とコード進行の結びつきについて理解する。 学習活動では「Garage band」や独自開発のデジタル教材を使用し、創作した旋律を録音、再生しながら試行錯誤を繰り返すことができるようにする。また、実際の楽器で創作することも選択肢に入れ、生徒自身が課題を設定し、解決していくための意欲を引き出せるようにする。</p> <p>【振り返り】 題材全体を見通すことができ、毎時間の学習の振り返りができるワークシートを活用することで、創作した旋律のよさや課題に気づき、次の学習活動につなげられるようにする。</p> <p>視点2【対話】 思いや意図、工夫した点を伝え合いながら創作した旋律を発表し、意見交換やアドバイスをする場面を設定することで、自分が気付かなかった創作の工夫に触れ、さらに豊かな創作表現の創意工夫ができるようにする。</p> <p>視点3【評価】 ワークシートに題材の目標や学習のステップを記入し、生徒が常に見通しをもつことができるようにする。また、学習の振り返りでは、どのような工夫を重ね、何ができるようになったのかを具体的に記入することで、題材の目標や学習活動と一致しているか生徒が確認できるようにする。</p>		
生徒の実態	約9割の生徒が「中学生の音楽1」(My Melody)で旋律をつくることができた。このうち、順次進行や跳躍進行など、音のつながり方の特徴を十分に生かして旋律を創作することができた生徒は約7割である。	約7割の生徒が、コード進行の構成音と旋律の結びつきを理解して旋律を創意工夫することができた。 反復や変化による音楽の構成に着目し、思いや意図をもつことができた生徒は約7割である。	ほとんどの生徒が創作の学習に関心を持ち、協働的な学習に対して意欲をもっていた。 ICTの活用では、ほとんどの生徒が好意的だったが、約7割の生徒が楽器もつかってついたり、演奏したりすることの必要性を感じるなど、高い意欲をもっていた。

題材の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知	音のつながり方や、反復、変化の特徴を理解している。	旋律とコード進行の結びつきについて感性を働かせ、反復、変化による音楽の構成に着目し、まとまりのある旋律になるよう、思いや意図をもって創意工夫している。	音のつながり方や、反復、変化の構成上の特徴を理解することや、旋律を創作する活動に関心を持ち、主体的・協働的に取り組んでいる。
技	旋律とコード進行の結びつきについて感性を働かせ、音のつながり方の特徴や、反復、変化を生かして旋律をつくる技能を身に付けている。		

指導と評価の計画（4時間取り扱い 本時3／4）

学習課題

旋律とコード進行の結びつきについて感性を働かせ、音のつながり方の特徴や反復、変化を生かして旋律をつくらう。

音楽を形づくっている要素【旋律、リズム、構成、テクスチャ】

次	時	◎ねらい ○学習内容 ・学習活動 ◆評価B規準例	知・技	思	態
第一次		◎反復、変化による音楽の構成の特徴を理解し、コード進行の響き等をもとに、つくりたい旋律のイメージをもつ。	評価方法		
	第1時	<p>○題材全体の学習活動の見直しをもつ。視点1（めあて）</p> <p>・スライドを見て、題材全体の学習活動の見直しをもつ。</p> <p>○音のつながり方の特徴を振り返る。また、コード進行の雰囲気を感じ取り、反復、変化による音楽の構成の特徴を理解する。【知】</p> <p>・音のつながり方の特徴は前年度の学習を振り返る。また、コード進行を聴き、雰囲気やイメージを言葉で表現する。反復、変化の特徴については、旋律のサンプルを聴いて確認する。</p> <p>○とらえた雰囲気やイメージを意見交換する。視点2（対話）</p> <p>○本時の振り返りをする。【態】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆【知】コード進行の雰囲気や、反復、変化の特徴についてとらえた文章をワークシートに記入している。</p> <p>◆【態】コード進行の雰囲気や、反復、変化の特徴を理解することに主体的に取り組み、本時の振り返りで、学習課題をどのように解決できたかを記入している。視点3（評価）</p> </div>	知 ワークシート ↓		態 観察・ワークシート ↓
第二次		◎つくりたい旋律のイメージをもとに、音のつながり方や反復、変化を生かして創意工夫する。		思 ワークシート ↓	
	第1時	<p>○旋律をつくる。</p> <p>・「Garage Band」や「デジタル教材」、「楽器」のいずれかをつかって旋律をつくり、記録する。</p> <p>・つくりたい旋律のイメージをもとに、旋律とコード進行の結びつきや反復、変化を生かした旋律になるよう、創意工夫する。【思】</p> <p>○本時の振り返りをする。【態】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆【思】イメージや、音のつながり方、反復、変化をどのように旋律づくりに生かしているか、ワークシートに記入している。</p> <p>◆【態】主体的に活動に取り組み、本時の振り返りで、学習課題をどのように解決できたかを記入している。視点3（評価）</p> </div>		思 ワークシート ↓	
	第2時 本時	<p>○中間発表をする。視点2（対話）</p> <p>・イメージや工夫したこと、心配な点や悩んでいること等をグループで伝え合い、つくった旋律を発表する。また、お互いにアドバイスをし合う。</p> <p>○アドバイスをもとに旋律を工夫し、まとまりのある旋律をつくり上げる。【思】</p> <p>○本時の振り返りをする。【態】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆【思】他者の作品やアドバイスをもとに、旋律やリズム等、工夫する内容をワークシートに記入している。</p> <p>◆【態】主体的に活動に取り組み、本時の振り返りで、学習課題をどのように解決できたかを記入している。視点3（評価）</p> </div>		思 ワークシート ↓	態 ↓
第三次		◎つくった旋律を発表し、聴き合う。	技 作品・発表 ↓		
	第1時	<p>○まとまりのある旋律をつくりあげ、発表する。視点2（対話）</p> <p>・それぞれの旋律のよさや特徴を伝え合う。</p> <p>○題材全体の振り返りをする。視点1（振り返り）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆【技】音のつながり方の特徴を生かし、旋律とコード進行の結びつきについて感性を働かせ、反復、変化を生かした旋律をつくっている。</p> </div>	技 作品・発表 ↓		

2 本時の授業計画

(1) 本時の目標

旋律の工夫した点を伝え合い、アドバイスをもとにイメージに近いまとまりのある旋律をつくり上げる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動	○主な発問・指示 ・予想される子どもの反応	○教師の支援 ◆評価	備考 ICT 機器等
導入	5分	1 前時の振り返りと本時のめあての確認(個人)	○イメージに近づけるために、音のつながり方や反復、変化を意識してつくってみよう。 ・落ち着いたイメージの旋律だから、順次進行の旋律を2回繰り返してみたらどうか。	視点1 (めあて) ○スライドで振り返る。 ○旋律のサンプルを聴いて音のつながり方や、反復、変化を確認できるようにする。	電子黒板 タブレット ワークシート
		めあて 中間発表のアドバイスをもとに、反復、変化、リズム、音のつながり方を工夫して、イメージに近いまとまりのある旋律をつくり上げよう。」 視点1 (めあて)			
展開	40分	2 中間発表(グループ)	○発表し合い、班のメンバーにアドバイスをしよう。 ・和音以外の音も使っていたが、和音の響きと調和している。 ・もっと反復を使うと、旋律にまとまりが出てくると思う。	視点2 (対話) ○旋律とイメージや工夫したポイント、悩んでいること等を発表するように伝える。 ○音のつながり方や反復、変化に着目し、アドバイスをするように促す。	タブレット 楽器 ワークシート
		3 旋律を工夫する。(個人) (1)タブレットや楽器を使ってつくる。 (2)アドバイスをもとに工夫した点をワークシートに記入する。	○アドバイスをもとに、さらに工夫を重ねて旋律をつくろう。 ・リズムを変えると旋律の雰囲気が変わっていくなあ。 ・反復と変化をもう少し取り入れて修正してみよう。 ○発表に向けて、工夫したところやこだわった点をワークシートに記入しよう。 ・ワクワクした感じを出すために、跳躍進行を取り入れた。 ・リズムを変えて音を増やし、和音以外の音も使うことでなかなかイメージを表現した。	視点3 (評価) ◆【思】他者の作品やアドバイスをもとに、旋律やリズム等、工夫する内容をワークシートに記入している。 ○アドバイスをもとに構成をさらに工夫してつくるように個別に助言する。 ○一人ひとりの記入状況を確認し、必要に応じて個別に助言する。	
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>【大会主題に迫る工夫と手立て】 「語り合おう音楽の魅力を」 ・中間発表の場を設けて、旋律の特徴や工夫した点を伝え、アドバイスをし合う。 ・完成した旋律を発表する場を設け、よさや特徴を伝え合う。 「響かせよう 未来につなぐ音楽を」 ・つくった旋律を発表し合い、音楽を創造する面白さや喜びを味わう。</p> </div>					
終末	5分	4 本時を振り返る。	○考えたことや学んだこと、身につけたことについてワークシートに記入しよう。 ・中間発表で他の人の旋律を聴いたり、アドバイスをもらったりすることで、具体的に工夫するポイントがわかった。 ・反復を使うことで、旋律にまとまりができることがわかった。	視点3 (評価) ◆【態】主体的に活動に取り組み、学習課題をどのように解決することができたかを記入している。	ワークシート

